



シラバスを参照したい科目をクリックしてください。



タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名			主担当 教員	対象年次	学期	曜日・ 校時	開講期間
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育 全学 モジュール I科目-B1 心身の健康 と生命	20140586000101	●心身の健康 と生命I(人 体の構造と機 能)	和	E	辻 幸臣	1年,2年,3年,4年	後期	金 2	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育 全学 モジュール I科目-B1 心身の健康 と生命	20140586000501	●心身の健康 と生命I(栄 養とは何か)	和	E	青柳 潔	1年,2年,3年,4年	後期	金 1	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育 全学 モジュール I科目-B1 心身の健康 と生命	20140586000901	●心身の健康 と生命I(遺 伝子と生命)	和	E	吉浦 孝 一郎	1年,2年,3年,4年	後期	木 1	～



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールⅠ科目-B1 心身の健康と生命**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140586000101	科目番号	05860001
授業科目名	●心身の健康と生命Ⅰ(人体の構造と機能)		
編集担当教員	辻 幸臣		
授業担当教員名(科目責任者)	辻 幸臣		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	辻 幸臣, 蒔田 直昌, 佐伯 和信, 石川 泰輔		
科目分類	全学モジュールⅠ科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生(クラス等)	工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス	yukiomitsuji@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	大学院医歯薬学総合研究科・分子生理学 医学部基礎棟3階		
担当教員TEL	095-819-7031		
担当教員オフィスアワー	木曜日18:00 - 20:00		
授業の概要及び位置づけ	心と身体の健康は最も大切なものである。豊かな人生を送るために、どのように健康が維持されるのかを知ることは意義深い。この講義では、解剖学と生理学の立場から、ヒトの身体の構造とその機能を系統立てて学び、複雑な生命現象を理解する。		
授業到達目標	主要臓器の構造と機能を学び、複雑な生命現象を理解できるようにすること		
授業方法(学習指導法)	パワーポイントを用いた講義形式		
授業内容	回	内容	
	1	序説：人体の成り立ちと恒常性（担当：辻）	
	2	構造系1：消化管と消化腺のかたち（担当：佐伯）	
	3	生理系1：消化器系臓器のしくみ（担当：辻）	
	4	構造系2：気道と肺、腎と尿路のかたち（担当：佐伯）	
	5	生理系2：呼吸器と腎臓のしくみ（担当：石川）	
	6	構造系3：交感・副交感神経、ホルモン分泌器のかたち（担当：佐伯）	
	7	構造系4：心臓と血管のかたち（担当：佐伯）	
	8	生理系3：自律神経・内分泌を中心とした適応調節のしくみ（担当：石川）	
	9	生理系4：心臓と血管のしくみ（担当：蒔田）	
	10	構造系5：発生と生殖に関わる器官のかたち（担当：佐伯）	
	11	生理系5：発生と生殖、遺伝子のしくみ（担当：石川）	
	12	構造系6：骨、関節、筋のかたち（担当：佐伯）	
	13	生理系6：骨、関節、筋のしくみ（担当：石川）	

	14	構造系7：脳・脊髄・神経のかたち（担当：佐伯）
	15	生理系7：脳・脊髄・神経のしくみ（担当：辻）
	16	
キーワード	人体の構造・解剖学・生理学・ホメオスターシス	
教科書・教材・参考書	適時紹介する。	
成績評価の方法・基準等	授業への出席・参加状況、小テストなど総合的に評価する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	人体の構造と機能を学ぶ機会はないと思いますので、これを機会に学んで下さい。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールⅠ科目-B1 心身の健康と生命**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 1
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140586000501	科目番号	05860005
授業科目名	●心身の健康と生命Ⅰ(栄養とは何か)		
編集担当教員	青柳 潔		
授業担当教員名(科目責任者)	青柳 潔		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	青柳 潔, 安部 恵代, 高島 美和, 篠崎 彰子		
科目分類	全学モジュールⅠ科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生 (クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	kiyoshi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部公衆衛生学		
担当教員TEL	095-819-7067		
担当教員オフィスアワー	12:00-13:00		
授業の概要及び位置づけ	健康増進のための栄養の重要性を理解する		
授業到達目標	健康的な食事を実践できる		
授業方法 (学習指導法)	講義 アクティブラーニング		
授業内容	1 ガイダンス 学習目標と方法 2 栄養所要量 3 エネルギー 4 脂質、タンパク 5 ミネラル 6 ビタミン、食物繊維 7 特定用途食品 8 食品の衛生 9 国民の栄養状況 1 10 国民の栄養状況 2 11 グループ学習 健康的食事・発表 12 グループ学習 健康的食事・発表 13 グループ学習 健康的食事・発表 14 グループ学習 健康的食事・発表 15 全体討論		
キーワード	栄養、健康		
教科書・教材・参考書	適宜プリント等を配布する		
	出席点 20 発表点 20		

成績評価の方法・基準等	課題レポート点 30 期末試験 30 (ノートのみ持ち込み可)
受講要件 (履修条件)	なし
備考 (URL)	
学生へのメッセージ	授業内容の予習



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールⅠ科目-B1 心身の健康と生命**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 1
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140586000901	科目番号	05860009
授業科目名	●心身の健康と生命Ⅰ（遺伝子と生命）		
編集担当教員	吉浦 孝一郎		
授業担当教員名(科目責任者)	吉浦 孝一郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	吉浦 孝一郎, 木下 晃, 井原 誠, 浦田 芳重		
科目分類	全学モジュールⅠ科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）	受講可能な学生なら制限無し		
担当教員Eメールアドレス	kyoshi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	原爆後障害医療研究所人類遺伝学		
担当教員TEL	095-819-7120		
担当教員オフィスアワー	木16:00～18:00		
授業の概要及び位置づけ	DNA、遺伝子から細胞を形作るタンパク質などの分子について講義する。遺伝子のはたらくことによって達成されるタンパク質や脂質、糖質の役割にふれ、最終的には、生物を形作る基本単位である細胞の構造および機能を分子レベルで理解する。発展的なモジュール受講のための基礎となる基本事項の習得をめざす。		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 細胞の構造を説明できる。</li> <li>② 細胞内構造物の機能を説明できる。</li> <li>③ 細胞の設計図である遺伝子の構造と機能を説明できる。</li> <li>④ 遺伝子からタンパク、脂質、糖質への情報伝達を含めて細胞の働きを概説できる。</li> </ol>		
授業方法（学習指導法）	講義形式ですすめる。初回から、高校までに学習する内容も含めて基本的な内容から講義する。高校生で生物学を履修していない者も理解可能な講義とする。担当教員は、4人で分担しそれぞれの教員の専門分野を講義する。		
授業内容	<b>授業内容</b> 高校程度の基礎知識から説明する。最終的には、個体としてのヒト、生物の成り立ちを分子から個体へといった観点をもてるようにする。 第1回（10月2日）：吉浦：細胞の構造と機能 第2回（10月9日）：吉浦：細胞の構造と機能 第3回（10月16日）：吉浦：遺伝子の構造と機能 第4回（10月23日）：木下：転写と翻訳 第5回（10月30日）：井原：タンパク質の化学 第6回（11月6日）：吉浦：遺伝のはなし 第7回（11月13日）：吉浦：遺伝の問題点 第8回（11月20日）：浦田：糖質の化学 第9回（11月27日）：木下：細胞のはなし（1） 第10回（12月4日）：木下：細胞のはなし（2） 第11回（12月11日）：井原：生命の起源 第12回（12月18日）：井原：放射線のはなし		

	第13回(12月25日)：浦田：葉緑体のはなし 第14回(1月8日)：浦田：ミトコンドリアのはなし 第15回(1月15日)：吉浦/木下/井原/浦田：まとめ, および総合討論(試験を含む)
キーワード	ゲノム, 遺伝子, 分子
教科書・教材・参考書	特にないが, 高校生が使用する生物の図表があると理解しやすい。 Blue Backs「アメリカ版大学生物学の教科書」
成績評価の方法・基準等	授業に対する取り組み状況(30%) 課題レポート・試験等による評価(70%)
受講要件(履修条件)	特にない。受講可能な学生ならよい。
備考(URL)	
学生へのメッセージ	

